



つたエール

◀ “YELL” けん

県内で頑張っている人に

エール(応援)を送ります

長崎ブレークスループロジェクト

コーディネーター

松島大輔 さん

県内企業の海外展開について、県内の学生が海外留学やインターンシップ、チーム研究によって課題や解決策を探る「長崎ブレークスループロジェクト」。外国人観光客の誘致促進や県産品の輸出拡大など、さまざまな分野でユニークな活動を平成29年度から展開しています。

このプロジェクトについて、コーディネーターである長崎大学教授の松島大輔さんにお話を聞きました。

Q.1 「長崎ブレークスループロジェクト」を始めたきっかけを教えてください。

人口減少などにより県内経済の規模縮小が危ぶまれる中、県内企業の海外展開や若い世代の国際人材の育成を目的に県内企業や大学、行政が一体となってプロジェクトを始めました。

このプロジェクトを通じて、学生が実践的な海外ビジネスを体験し、県内企業に還元できることを願っています。

Q.2 プロジェクトを進めるうえで、学生に求めることはどんなことですか？

大学の講義を受けるだけでなく、海外に足を運んで実際のビジネスに携わり、ゼロからビジネスを生み出す面白さを体験してほしいです。また、事前にしっかりと段取りを組み、アイデアに留まるのではなく、実際に成果を出すことを重視してプロジェクトに取り組んでほしいですね。

Q.3 プロジェクトを進めてどのような効果がありましたか？

学生にとっては、海外展開に取り組む県内企業を知ることで、県内就職を検討するきっかけになりました。一方、企業にとっても、現地での市場調査などを学生が行うことで、より詳しい現地情報を得ることができ、今後のさらなる展開に手応えを感じる機会になったと思います。



学生からの相談にも気軽に応じる松島さん

初年度は、県内の大学、学生、歯科医、企業によるプロジェクトチームが中国人を対象に歯のホワイトニングサービスを提供するビジネスなど9つのプロジェクトが活動しました。

県内の国際人材の育成を応援するけん!

